

家園

第27号



特定非営利活動法人

中国帰国者・日中友好の会

〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7

ペガサスミシンビル 1 階

TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358

<http://jc-yuko.com/>

字体作者：周慧珺



中華人民共和国 孔鉉佑 駐日大使が本会へ送られてきた年賀状

目 次

★ 活動写真.....	2
★ 松山樹子先生を偲ぶ.....	3
★ ある二世の履歴書.....	4
★ コロナで考えさせられる事.....	5
★ 新語学習.....	6
★ 寄付者ご芳名録.....	7
★ 活動記録・お知らせ・編集後記.....	8

活動記録写真



久しぶりの再会（日本舞踊教室）



健身舞踊教室



S・Z・H メディカル JAPAN
専務 柳河 様よりマスク
を寄贈していただいた



太極拳教室・張波先生



「一笑苑・江戸川」
クリスマスパーティー



健身と舞踊



コロナ禍中でも恒例の弁護団会議が欠かさず行われた

松山樹子先生をしのぶ

(池田 澄江)

私は中国残留孤児として、帰国するまで黒龍江省牡丹江で生活していました。

養父母に実子以上に大切に育ててもらいましたが、小さい時から、自分は日本人であることが分かっていました。日中戦争を描く絵本がはやる時代でしたので、日本人はみんな侵略者で悪い人ばかり、とっていました。周りの子供たちに「小日本鬼子」と呼ばれた時、一人で悲しみました。

そんなある日、養父きました。既に小学校た、「日本の有名なバレエ『白毛女』をバレエに好評を博した」、といすぐ読み始めました。もい人があるんだ」、ようになれる、と初めなり、後の私の中国でりました。

それから 40 年、沢山波乱な人生を送りましかれた日中友好団体の団の席の隣に座り、話りました。私に勇気やしたバレエ団の皆さんしました。

あれから 12 年、松山ます。私たちは先生のために、自分なりに

5 月に先生の訃報をきいて、悲しくて残念でなりません。日本国民の 9 割以上、中国に対していいイメージを持ってない世の中、先生と松山バレエ団の皆さんが、私達に希望の光を与えてくださいました。そして、私達はこれからも先生を見本にして、胸を張り、困難を恐れず危険を顧みず、日中友好のために活動していきたい、と思います。

先生は私達の心の中に永遠に生き続けます。天国で私達を見守ってください。



松山樹子先生 祇園祭

が新聞紙に包まれたお菓子を持ってに入っていた私は、新聞に掲載されレエダンサー・松山樹子は中国歌劇改編して自ら主人公の喜儿を演じ、う内容の記事や写真が目に残り、記事を読み終わった時、「日本人に日本人であっても中国人に好かれて気付きました。その思いが信念との歳月の中で、精神的な支えでもあ

のことを経験し、沢山の方と出会い、た。2009 年温家宝元中国総理が開レセプションでたまたま松山バレエしているうちに、幼い時の記憶が甦自信を下さったあの松山先生が創立だ、と分かった時、涙出そうになり

バレエ団にずっとお世話になってい千分の一も及びませんが、日中友好努力しています。

「中国残留孤児原告団」京都の代表奥山イク子さんが、さる 2021 年 2 月に亡くなりました。2 年前に東京で厚労大臣面談が行われた後、「来年また会いましょう」といわれ、再会を楽しみにしていたのに、もう二度と会えないとは、夢にも思いませんでした。

奥山さんとは「中国残留孤児国家賠償訴訟原告団」が結成以来の付き合いで、ある意味で戦友であります。彼女は京都の孤児代表として、先頭を切って戦って来ました。大阪地裁の判決が出た時、泣きながら、「勝利を勝ち取るまで、絶対あきらめない」、と言った言葉はいまも印象に残っています。奥山さんのような不屈の精神を持つ孤児がいることが、残留孤児の新支援策ができた一つの要因であるに違いがありません。

全国には、若いときから残留孤児と苦労を共にしたにも関わらず、残留孤児が 60 歳未満で亡くなったなど、理不尽な理由で、配偶者支援給付の対象外になっている配偶者が数十人います。奥山さんはご生前、その問題の解決のために奔走していました。私達にとっては、かけがえのない戦友を失ったことの喪失感は計り知れません。

私たちは奥山さんのご遺志を受け継ぎ、「残留孤児」支援法の更なる改正を実現できるよう、これからも交渉を続けることは、彼女に対する何よりの記念である、と私は思います。

ある二世の履歴書(連載①)

(文/訳 小野 隆輔)

彼の名は小川竜輔(仮名)、あと数ヶ月で満54歳になる。東京在住の彼は30名の社員を携えて小さな会社を経営。

忙しさで彼のどこか欠けた心を紛らせているように見えた。

彼が生まれたのは中国の東北部。所謂旧満州地方。15歳の春ころに父が日本人だと知った。小さい頃に中国の漫画から映画までほとんど抗日戦争だった。その様な教育を受けて育った彼が勿論日本人のことが好きではなかった。まさか大好きな父親は彼の嫌いな日本人だと夢にも見なかった。複雑な心境は暫くつづいたようだ。でも映画の中の日本兵(鬼子)と真逆でとても優しく家族思いと頼りのある父親だった。

彼が順調に高校へ進み卒業後 地方税務署の臨時職員として採用され青春を満喫しようとした時に父から日本へ帰国する決断が下された。内心では穏やかではなかったが父が日本人と知った時から少しずつ日本に興味を持ち始め、突然の決断には猛反対ではなかった。そして1987年の11月ころ20歳未満の彼を含めて家族6人が飛行機で日本へ飛び立った。彼の家族は厚生労働省の世話により中国帰国者研修センター常盤寮入居。

まず自立の為に日本語と生活習慣や常識などを同じような境遇を持つ帰国者と一緒に勉強した充実な半年間だった。その後彼の家族は国の特別な配慮により足立区の都営住宅に入居した。

彼は昼間にバイトを励み、夜は日本語学校に通う生活を半年間続けた、二十歳を過ぎたころ、家を出て就職先の寮に住み始めた。彼の父は日本に帰国する前から体調を崩し入退院繰り返す生活だった。仕事しながら車の免許を取得した彼は日本語をあまり話せない両親の通訳と病院への世話など、家の大黒柱のようだった。

その後彼が転職して運送会社に入社バイトを含めて朝3時から夜九時まで働いて将来を見据えてお金を貯め始めはした。

(つづく)

他的名字叫小川竜輔(假名),还有几个月就54岁了。现居住在东京,经营着一家有三十几名职员的公司。由于过度繁忙,总是看起来心不在焉。

他出生于中国的东北部,也就是所谓满州。15岁的时候知道了自己的父亲是日本人。小的时候,看的中国的漫画和电影几乎都是抗日战争的内容。在这样的教育下,长大的他当然不喜欢日本人。但是做梦也没想到那么喜欢的父亲竟然是自己讨厌的日本人,带着这样复杂的心境过了一段时间。不过与电影里面的日本兵(鬼子)相反,父亲是一个很关心家人、很和蔼可以依靠的人。

在他顺利地高中毕业后,作为地方税务署的临时职员被录用。开始想要尽情享受青春的时候,父亲决心要回国了。心里虽然也泛起了波澜,但是从知道父亲是日本人时起,就对日本开始产生兴趣,对父亲的突然决断没有太反对。之后一家六口人坐飞机在1987年11月左右回到日本,当时的他还未满二十岁。一家人被厚生劳动省安排居住在中国归国者进修中心常盘寮宿舍。

和有相似的境遇的中国归国者在一起学习日语和生活习惯及日本社会的常识,半年之后他的家人根据国家政策迁入足立区的都営住宅。

他白天打零工,晚上去日语学校学习。半年后过了二十岁的他,离开家住进了公司宿舍。回国之前,他的父亲就身体不好,回国后也不断的住院。他一边工作,一边考取驾照,照顾父母,为他们做翻译,成为家里的顶梁柱。

之后他换工作,进入了运输公司。从凌晨3点到晚上9点做几份工作,开始为将来努力存钱。

中国残留孤児とその家族の思いを、奈良を舞台に紡ぐ映画

■タイトル:『再会の奈良』

■コピーライト表記: © 2020 “再会の奈良”
Beijing Hengye Herdsman Pictures Co., Ltd, Nara
International Film Festival, Xstream Pictures (Beijing)

■配給: ミモザフィルムズ



コロナで考えさせられること

(文：孫妮 翻訳：祖父江安紀子)

又一个春节过去了，病毒还是张牙舞爪地一点也没有鸣金收兵的意思。

两年前疫情开始肆虐的时候，身在异乡的我忙忙碌碌的像是在“隔岸观火”。看到日本有的药妆店口罩降价声援中国；有的店家在店头写着“中国加油！”心里满满的都是感动。直到有一天听说武汉封城了，看到钟南山眼中的泪光，才感到大事不好！慌慌张张地买了些口罩给国内的亲友寄去。也没想到给自己留点，以为像那年的非典一样没我们什么事。等到大家都戴上口罩时，就再也找不到卖口罩的了。起初人们还怀着美好的遐想：到吃元宵时疫情就会有拐点了吧？吃过了元宵又说：到吃猪头肉时总行了吧？我这张乌鸦嘴当时就说：“得到吃粽子的时候”。大家对我群起而攻之，“还有好几个月呢，绝对拖不到那时候！”天哪！不幸被我说中了大半，粽子吃了第二次了还没看到曙光。

这一场疫情警醒了世人，特别是我们这些以为自己还能活几辈子的中国人。平时省吃俭用，拼命赚钱。疫情来了，家门封了，国门封了，世界封了，有钱也花不出去了。平时也没见谁满世界跑，可是疫情期间人们谈论的都是什么时候可以去旅行啊？都快憋疯了！人人都感叹：赶紧为自己花点钱，享受享受吧，要不然这辈子屈死了！

“生命诚可贵，爱情价更高。若为自由故，两者皆可抛。”对裴多菲的这首著名的诗句，现在有了真切的体会，自由对每个人都太重要了！做梦都没想到有一天我们会失去自由。因为有疫情，我们不自由了。最初只有我们的祖国举国上下与病毒鏖战，损失惨重。武汉封城那阵子，网上出现了各种“喷子”。有喷国家的，有喷社会的……不一而足。小妹的一句话让我想起来就动情。她说：“祖国再不好，我们也不能伤害她”。想想还是“草根”最爱国啊！因为危难来临的时候，我们什么也没有，只有祖国是属于我们的。所以会为国、为家拼命、献身。回过头看我们的国家，有那么多勇敢的人在关键时刻奋不顾身，才有了现在的一枝独秀。

疫情让我们看淡了一切。人生在世，想做的事赶快做保重好身体，调整好心情，过好每一天是最重要的。衷心盼望着疫情早点结束；盼望着国泰民安；盼望着能早日踏上

今年もまた春節が過ぎてしまった。新型コロナウイルスは相変わらず猛威を振るい、未だ収まる気配はない。2年前に感染の拡大が始まった頃、異郷に暮らす私は、慌てふためく様子をまさに「対岸の火事」として見ていた。日本のドラッグストアでは、マスクを値下げして、店頭で「中国がんばれ！」と書かれているのを見て、胸が熱くなったりしていたのが、ある日武漢がロックダウン。医師の鍾南山氏の目に涙が浮かんでいるのを見てようやく、これは大変なことになったと思った。大慌てでマスクを買い、中国に住む親友に送ったが、それでも自分の分を取っておくことなど考えもつかず、SARS の時のように自分には関係ないことだと思っていた。周りがみんなマスクをするようになって、どこを探してもマスクを売っていないことに気が付いた。はじめはみんな、元宵節（旧暦の1月15日）のころには感染も一段落しているだろう、と軽く思っていた。元宵団子を食べ終わっても、旧暦の2月2日に豚の頭を食べるころには大丈夫だろう、と思っていた。私のこのカラス並みに不吉な口は、当時「端午の節句に粽（ちまき）を食べるころには・・・」などと言っていた。みんなは「いったいあと何か月引き延ばしたら気が済むんだ！」と私を集中攻撃したが、なんと当たらずとも遠からず、二回目の粽を食べてもまだ、希望の兆しは見えてこない。

私のように自分はまだまだ長生きできている中国人は、今回の感染拡大で、目が覚めた。日頃質素に生き、一生懸命お金を貯めても、いざ感染拡大が起これば、家は封鎖、国が封鎖、世界も封鎖、お金があっても使い道がない。普段世界中を旅してまわっているわけでもないのに、感染拡大の間、人は口を開けばいつになったら旅行に行けるんだろうね、早く収束すればいいのに、という話ばかり。「早く自分の為にお金を使いたい、楽しまなくちゃ、死んでも死にきれないわ。」とため息をつく。

「生命は貴重である、愛情はもっと価値が高い。もし自由の為なら、両方を捨てても構わない。」ペターフィ・シャーンドル（1823-1849 ハンガリーの詩人）のこの有名な詩を、私たちは今まさに経験している。自由はあらゆる人にとって本当に大切なものののだ。自由を失う日が来るなんて、全く夢にも思わなかった。コロナのせいで自由が奪われた。最初中国だけがウィルスと死に物狂いで闘い、極めて大きな損失を出していた。武漢がロックダウンされた時、ネット上にいろいろな誹謗中傷を書き込む「荒らし」が現れた。国家を罵り、社会に悪態をつき・・・きりがなくらい。「祖国がどんなに悪くても、私たちは祖国を傷つける事は出来ない」という妹から聞いた言葉を思い出す度に心が高揚する。やっぱり「根っこ」では一番大切な国なのだから。窮地にさらされた時、私たちのよりどころは祖国以外に何もない。だから国のため、家のために命を投げ出すことができるのだ。中国にはここぞという時に、奮い立ってわが身を氣にかけない勇敢な人があんなにも大勢いるのだということが、しみじみよく分かった。

コロナウィルスは私たちを気弱にさせた。生きているうちにしたいことは早くしなきゃ。明日の身の上は、神のみぞ知る。体に気を付けて、心を整え、一日一日を過ごすことが一番大事。コロナが早く収束しますように。国家安泰でありますように。早く故郷の土を踏むことができますよう。

新語学習

躺平族

- ・ 是指年轻人中不买房，不结婚，不生孩子。放弃努力，只过低欲望生活的一类人。
- ・ 「躺平族」とは、「寝そべり族、横たわり族」の意味で、家を買わない、結婚しない、子供産まない、高額消費しないという、頑張ることをやめた若い世代のことを指す。

例如：不论我多努力，在上海都买不起房子，所以我要做躺平族了。

（私はいくら頑張っても、上海でお家を買えないから、もう努力するのを止めた。）

「反対語 「躺贏」（寝そべり勝ち）という言葉がある。」

低头族（低頭族）

- ・ 低头族是指一直低头看手机的一类人。
- ・ 低头族（低頭族）とは、周りの状況や場所を考えずに、うつむいてスマホばかり見ている人のことを指します。

例如：在站台上还做低头族，太危险了！

（例：駅のホームでながらスマホをするのは、結構危なっかしいですよ。）

月光族

- ・ 月光族是指不存钱，把每月工资都在下次开支之前花光的人。一般用来说不懂得节约的年轻人。

- ・ 月光族とは、給料をもらったら、その月の間に、全部使い果たしてしまう人のこと。

要するに、浪費家のことで、特に若い人を指すようです。

例如： A：借我点儿钱，下月开支就还你。

B：我和你一样也是月光族，如果借给你钱，我就没钱吃饭了。

（例： A：お金を貸して、給料入ったら返す。

B：僕は君と同じ「月光族」、お金を貸してあげたら、食事もできなくなるよ。）

闪辞族

- ・ 闪辞族是指没有任何犹豫，说辞职就辞职的人。

- ・ 闪辞族とは、電光石火のごとく、すぐに仕事を辞める人のこと。

例如： A：今天没去上班？

B：我辞职了。

A：你不是上个星期才去那个公司的吗？

B：一进去就发现不适合我，所以闪辞了。

（例： A：今日は休み？

B：仕事を辞めた。

A：え、先週にその会社に入ったばかりじゃん！

B：僕には合わないことに気づいて、すぐやめた。）

中国語だけではなく、日本語もかなり変遷の度合いが大きい、と思います。実際、平安時代や鎌倉時代の古文はおろか、明治時代の文語文レベルでも、普通の人には読みにくいわけですからね。それと対照的に、アイスランドなんかだと、言語の変遷があまり起きなかったため、300年以上前の文章を小学生がスラスラ読めると聞いたことがあります。よく考えれば、言葉は変遷を続け、そして果てしなく移り変わってゆきつつも受け継がれてゆくのは、その言葉・言語の持つ生命力の証ではないでしょうか。

寄付者ご芳名録

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会へのご協力、心より御礼申し上げます。
ご寄付いただきました方々への感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。

■お名前は五十音順で掲載しております。(敬称略)

■お名前の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

■ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がございましたら、誠に恐縮ではございますが、
弊会事務局までご連絡ください。

2019 年度 (2019 年 4 月～2020 月 3)		2020 年度 (2020 年 4 月～2021 月 3 月)	
SZD 商事株式会社	1, 000, 000	川上春吉(故人)	2, 000, 000
公益財団法人「中国残留孤児」援護基金	3, 531, 000	公益財団法人「中国残留孤児」援護基金	1, 100, 000
笠原五郎 (故人)	30, 000	中国「残留孤児」国家賠償訴訟弁護団	840, 000
河合弘之	3, 757, 000	早坂毅	200, 000
佐々木弘志	500, 000		
在日中国企業協会	50, 000		
中国「残留孤児」国家賠償訴訟弁護団	840, 000		
東京都 助成金	239, 000		
早坂毅	200, 000		
その他、非公表希望の方より計 102.6 万円のご寄付をいただきました。		その他、非公表希望の方より計 1030.5 万円のご寄付をいただきました。	

春已归来。

看美人头上，袅袅春幡。

无端风雨，未肯收尽余寒。

——辛弃疾《汉宫春·立春日》（节选）

不知不觉，立春已至。

面对着再度袭来的疫情，我们依旧恐惧，依旧担心，但不管怎样，我们还是满怀希望地憧憬着明天。

每一个春天都意味着希望和新生，过去的种种，成为我们春天伊始，奋发的养料。

当经历了最极致的严寒后，春天也会不约而至。寒极必暖，否极泰来，愿我们都能守得住岁月，等得到花开！



認定「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (令和3年1月～令和4年1月)

1月～12月	写真家白幡一茂氏が取材に来所
3月11日	NHKの田中正良記者が池田澄江を取材した
4月3日	東京新聞の記者木原育子が取材のため来所
6月19日	第13回定例総会が開催された、議案が三つ通過した
6月30日	松山樹子先生の告別式に、池田澄江(他一名)が参列した
7月9日	厚生労働大臣面談に、本会より、孤児3人、弁護士2人が参加した
9月1日	本日より、弊会介護事業部の施設「一笑苑・江戸川」の経営はSZD商事(株)に承継してもらう
10月9日	劇団朋友の公演「世界の果ての子供たち」に過能国弘が出席し、アフタートークを行った
10月20日	「認定更新」を審査のために、東京都の担当の方が来所し、現地調査を行った
12月2日	東京都より弊会のNPO法人「認定更新」が承認された
12月	映画「再会の奈良」試写会に本会から孤児が5人出席

到了我们这个年纪

词:余晓清

到了我们这个年纪
要好好地保重身体
吃吃喝喝都要注意
不能随意乱发脾气
到了我们这个年纪
还要承受许多压力
感叹岁月太过无情
更多东西懂得珍惜
我们经历了太多风雨
如今身心已经疲惫
我们也会为爱哭泣
追逐梦想不会放弃
我们穿过了多少荆棘
我们见证了多少奇迹
不会喊苦不会喊累
明天的路还要继续



《家園》編集委員 (第27号)

白山 明德	河村 忠志
張 狄	孙 妮
春 晓	祖父江 安紀子
写真撮影	二田口国博 入澤美和子
レイアウト	松本莉恵

編集後記

岁月宁静是片刻，一地鸡毛是日常
即使世界偶尔薄凉，内心也要繁花似锦
浅浅喜，静静爱
深深懂得，淡淡释怀
远处的是风景，看眼前才是人生
唯愿此生，岁月无恙
只言温暖，不语悲伤

♪会報のバック・ナンバーお読みになれます♪



よろず相談窓口：

平日10:30～15:00
TEL:03-3835-9357

日本語・中国語対応



恭祝2022年北京冬奥会圆满成功

